

授業科目 在宅看護学概論

【担当教員名】 宇田 優子、稲垣 千文		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	○		
【概要・一般目標：GI0】 急速な高齢化、家族構造の変化、人々の健康意識の変化、医療費削減・在院日数の短縮化などによって、在宅ケアのニーズは増大している。それに伴い、看護職に求められる能力も複雑で高度化してきている。こうした背景をふまえ、在宅看護学では保健・医療・福祉の有機的な連携を基盤として、在宅療養をしている人とその家族を、「地域で生活すること」「その人らしく生きること」に視点を置いて理解し、在宅看護の機能と役割について修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護の目的と特性、活動場所を説明できる 2. 在宅療養者が利用できる社会資源と訪問看護制度を説明できる 3. 在宅看護の対象となる個人とその家族の特性を説明できる 4. ライフステージや疾患、障害の特性を関連付けて在宅看護を表現できる 5. 在宅看護における倫理について説明できる 6. 在宅看護における多職種連携とケアシステム構築を説明できる 7. 訪問看護における倫理とリスクマネジメントについて列記できる 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	社会の諸情勢と在宅看護の歩みと法律			1、2	講義、担当：宇田 優子
2	在宅看護の対象の疾患や障害の特性をふまえた理解と支援に必要な理論			2、3	講義、担当：宇田 優子
3	在宅看護の対象と家族の理解			2、3	講義、担当：宇田 優子
4	在宅看護に活用可能な社会資源・制度			2	講義、担当：宇田 優子
5	在宅ケアシステムの構築（1）			1、2、6	講義、担当：宇田 優子
6	在宅ケアシステムの構築（2）			1、2、6	講義、担当：宇田 優子
7	在宅療養者が求める看護			3、4	講義、担当：宇田 優子 他
8	介護保険制度とケアマネジメント			1、2	講義、担当：宇田 優子
9	在宅看護における看護倫理			5	講義、担当：宇田 優子
10	小児への在宅看護の特徴			4	講義、担当：稲垣 千文
11	成人への在宅看護の特徴			4	講義、担当：稲垣 千文
12	高齢者への在宅看護の特徴			4	講義、担当：稲垣 千文
13	訪問看護ステーションの訪問活動の実際			4	講義、担当：宇田 優子 他
14	在宅看護とリスクマネジメント			7	講義、担当：宇田 優子
15	まとめ *内容は変更する場合がある			1～7	講義、担当：宇田 優子
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		在宅看護論	石垣和子、上野まり	南江堂	2014・2,600円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席態度（出席及び提出物を含む）10%程度 レポートおよび筆記試験 90%程度		2年次科目の、「家族看護学」「保健医療制度論」と関連付けて積極的な態度で学ぶこと			